



【展覧会名】巡回展「日本のガラス展 Glass '18 in Japan」

【会 期】2019年4月6日(土)～7月7日(日)

前期：2019年4月6日(土)～5月19日(日)

後期：2019年5月25日(土)～7月7日(日)

※休館日：4月16日(火)、5月20日(月)～24日(金)、6月18日(火)

開館時間 9:00～17:00(入館は閉館時間の30分前まで)

【会 場】石川県能登島ガラス美術館 展示室 A、B、D

【作品点数】前期 59点／後期 60点

【入 館 料】高校生以上/個人 800円(20名以上の団体 700円)、中学生以下 無料

【主 催】石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

【後 援】文化庁、公益社団法人企業メセナ協議会認定、七尾市教育委員会、NHK 金沢放送局、北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、北陸朝日放送、エフエム石川、ラジオななほ

【お問合せ】石川県能登島ガラス美術館

本展担当学芸員：竹本加奈

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町 125-10

TEL:0767-84-1175 FAX:0767-84-1129

E-mail: takemoto@nanao-af.jp(竹本)

日本ガラス工芸協会は、ガラスと人々との結びつきを深め、文化の発展向上に寄与することを目的に、ガラスによる創作活動に携わる人々によって設立された日本で初めての団体です。1972年の協会創設以来3年毎に開催される「日本のガラス展」は、同協会事業の柱となる展覧会であり、毎回会員の個性豊かな新作が出品されています。14回目の開催となる本展では、会員79名と公募入選者32名を合わせた計111名の最新作が出品されており、巡回先である石川県能登島ガラス美術館では前期と後期に分けて作品を展示します。

技法においても表現においても多様な展開をみせる現代ガラスの魅力に触れ、ガラス素材による表現の可能性を感じていただく機会となれば幸いです。

■展覧会構成

展示室A・D: 日本ガラス工芸協会正会員の作品を展示。展示室Dでは入賞作品3点は前後期通して展示。

展示室B : 日本ガラス工芸協会正会員と公募展入選者の作品を展示。公募入賞作品5点を前後期通して展示。

■関連イベント

古代の物質「ファイアンス」で小物づくり

「ファイアンス」とは石英を主成分とする焼物で、古代エジプトでは護符などが作られていました。

青く輝くファイアンスでキーホルダーなどの小物づくりのワークショップを開催します。

【日時】①6月1日(土)14:00～ ②6月2日(日)10:00～

【講師】山花京子氏(東海大学文化社会学部アジア学科准教授)

【会場】別棟2階

【参加費】1200円

【定員】各日20人

【対象】どなたでも ※小学生4年生以下の方は保護者同伴

【引き渡し】後日郵送(完成までに2週間ほどかかります)

【申込】4月6日(土)より電話にて受付 ※定員に達し次第締め切り

ほか詳細は美術館HPにてお知らせいたします。

■広報用画像



山田輝雄 2018年
撮影: 福田稔
★JGAA 賞受賞作品



新倉晴比古 2018年
撮影: 松井良浩
★JGAA 賞受賞作品



3 「Harmony」
朝倉祐子 2018年
★JGAA 賞受賞作品



4 「レース皿」
多田えり佳 2018年
※後期展示



5 「紫金彩古代文様レース蓋
コアガラス砂糖菓子器」
小暮紀一 2018年
※前期展示



6 「Void」松浦健司 2018年
※後期展示

画像 1～6 を広報用に提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、美術館担当者までお申し込みください。

担当：米田 (Email: yoneda@nanao-af.jp)

<使用条件>

- ・広報用画像の掲載時には各画像のキャプションおよびクレジットを明記してください。
- ・トリミング、画像への文字乗せはご遠慮ください。
- ・情報確認のため、校正紙を当館までお送りください。

以上、ご理解、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。